

令和2年度 箱根町町政モニター第4回アンケート調査結果

1 調査概要

○ 調査テーマ

箱根町の環境について

○ 調査理由

町では、平成23年度に「箱根町環境基本計画(第2次)」を策定し、環境の保全等に向けた取組みを進めていますが、この計画が令和3年度をもって期間満了となります。

そこで、本町の環境の保全等に向けた取組みなどについて、皆さまのご意見などを伺い、新たに策定する「箱根町第3次環境基本計画」に反映するため、アンケート調査を実施しました。

○ 回答期間

令和3年1月25日(月)～2月7日(日)

○ 対象者

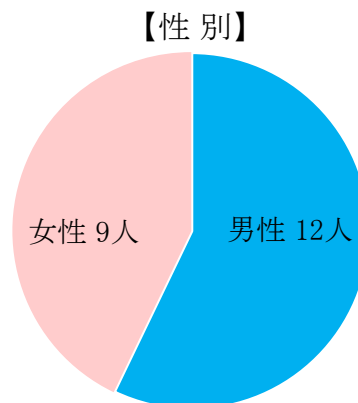
箱根町町政モニター 46人

○ 回答者数(回答率)

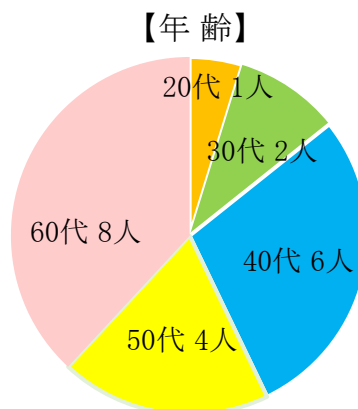
21人(約45.7%)

○ 回答者の基本属性

性別	回答者数	割合
男性	12	57.1%
女性	9	42.9%
合計	21	100.0%



年齢	回答者数	割合
20代	1	4.8%
30代	2	9.5%
40代	6	28.6%
50代	4	19.0%
60代	8	38.1%
合計	21	100.0%



### ○「残していきたい、守っていきたい」、「暮らしに活かしたい、楽しみたい」と考える箱根の環境について(質問[2])

「残していきたい、守っていきたい」環境としては、本町の多彩で優れた自然や自然景観、その中で育まれてきた歴史的資源や伝統、静かな環境があげられています。

また、「暮らしに活かしたい、楽しみたい」環境としては、こうした自然環境等を愛でつつ、森や水辺での散策や観察といった自然とのふれあいを楽しむことや、各地域の個性ある温泉での入浴など、地域資源を活かした健康づくりや癒しが得られる環境があげられています。

意見等の詳細は、5～7ページを参照ください。

### ○ 住まい周辺の環境について(質問[3], [4])

住まい周辺の環境の満足度で『満足』・『やや満足』を選択した方は、「空気のさわやかさ」(21人)、「緑の豊かさ」(19人)、「水のきれいさ」(18人)が多く、次いで、「まちの静けさ」(17人)と「多彩な自然環境・自然景観とのふれあい」(16人)となっています。

反面、『不満』・『やや不満』を選択した方は、「気候変動に伴う気象災害への安心さ」(14人)や「災害時における電力等エネルギーの確保」(11人)などがあげられ、令和元年台風19号による気象災害等、気候変動の影響に対する安全・安心が懸念されています。

また、「鳥獣からの被害」に対する満足度も低く、全体として環境面からの安全・安心に対する不満が多く見られます。

なお、これらと関連して、環境を良くしていくために重要なこととしては、「緑の豊かさ」や「まちの清潔さ」など、現在の良好な環境の維持増進が特に必要と考えられています。

### ○ 環境保全に関する取組み(行動や活動)について(質問[5], [6])

日常生活における環境保全行動で『いつもしている』が多かった取組みは、「食べものを大切にし、食品ロスや生ごみを減らしている」(20人)のほか、「水道をこまめに止めるなど水を大切にしている」(19人)、「冷暖房の温度を適正に管理」(19人)など節水や省エネへの取組みで、9割以上の方が実践しています。

一方、「再生可能エネルギーの活用」は『時々している』が4人に留まり、再生可能エネルギー電力の購入が普及していないこと等が考えられます。

また、「住まい周辺の清掃・落ち葉掃き」は『いつもしている』・『時々している』の合計で7割以上、「町や自治会の環境保全・環境美化活動に参加している」は4割以上の方が参加しているとともに、『今後もしてみたい』を選択した方が一定数おり、全体として環境美化への関心が高いと考えられます。

これに関連し、町や地域で実施する環境保全活動への参加・協力について、「積極的に参加・協力したい」が3割弱、「時間や機会があれば、参加・協力したい」も6割弱と、活動機会の充実や活動時間の工夫を行い、協働による取組みを推進することが必要となっています。

## ○ 箱根町の環境保全等に関連する取組みについて(質問[7])

町が進めてきた環境保全に関連する取組みや計画などについては、「箱根ジオパーク」(16件)への認識が高いほか、「環境観光都市宣言」(8件)、「箱根町をきれいにする条例」(5件)、「観光美化・自然愛護作品募集」(5件)など、自然環境保全と観光に関連する環境美化への取組みや、「生ごみ処理機購入補助」(6件)といった生活に関わる取組みへの認識は、やや高い傾向が見られます。

なお、最近の地球環境問題に関連した取組みについては、相対的に認識が低く、今後の普及啓発が課題となっています。

## ○ 今後、箱根町が特に優先して進めていく必要があると考える取組みについて(質問[8]~[10])

地域の環境資源の保全・活用に向けて優先すべき項目は、「自然景観の保全と活用」(16件)が特に多く、次いで、「河川・湖沼等水辺環境」(10件)と「歴史・文化資源、温泉の保全と活用」(10件)の順となっており、これらは他の質問での傾向と同じく、自然環境や地域資源を積極的に保全し、活用していくことが重要であると考えられていると言えます。

地球温暖化や廃棄物減量化、生活環境などの保全に向けては、「ポイ捨て防止・環境美化活動」(13件)、「プラスチックごみ対策」(11件)、「空家・空地の環境保全対策」(11件)をはじめ、「水質汚濁の防止」(8件)など、清潔で美しい環境を確保していくことを優先し、次に再生可能エネルギー活用や交通環境など、環境負荷の低減と利便性の確保などを図っていく必要があると考えられています。

また、「SDGs(持続可能な開発目標)の普及」(6件)についても、国際観光地として進めていくことが重要であると考えられています。

なお、環境教育・環境保全活動に向けては、「子どもの環境教育・体験学習の推進」(15件)が高く、次いで「分かりやすい情報の提供」(12件)、「滞在者向け環境パンフレットや情報発信」(7件)などとなっており、次代を担う子ども達への継続した学習機会の提供や幅広い層への情報提供が必要との認識がなされています。

## ○ 総論

今回の調査では、本町の環境に対する考えや、より良い環境にしていくための取組みへの意見を、現在、喫緊の課題となっている気候変動等の地球環境問題、プラスチックごみや食品ロス等の廃棄物問題、更には、普及が遅れている生物多様性の確保など、幅広い視点を交えて伺っています。

調査結果としては、本町の基盤となっている豊かな自然環境や優れた自然景観、多様な温泉などの地域資源の保護と活用を優先し、清潔で美しい環境を確保しつつ、これらの取組みと一体となった、本町の環境を取り巻く様々な課題への対応が求められています。

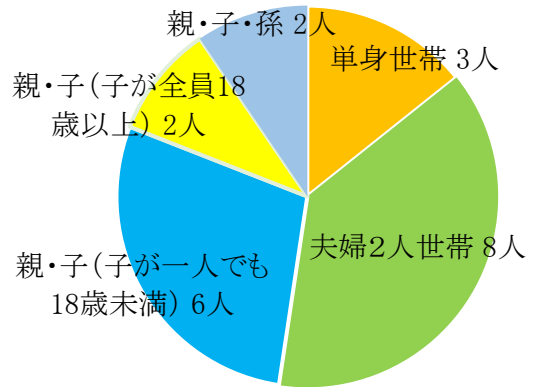
今後、本町の環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に進めていくための指針となる「第3次環境基本計画」の策定を進めるに当たっては、こうした「箱根らしさ」を活かした取組みを推進し、環境負荷の少ない持続的発展が可能なまちづくりと、町民や本町を訪れる多くの方々の、より快適な環境を実現できるよう努めてまいりたいと考えています。

### 3 アンケート集計結果

[1] あなたのことについて教えてください。

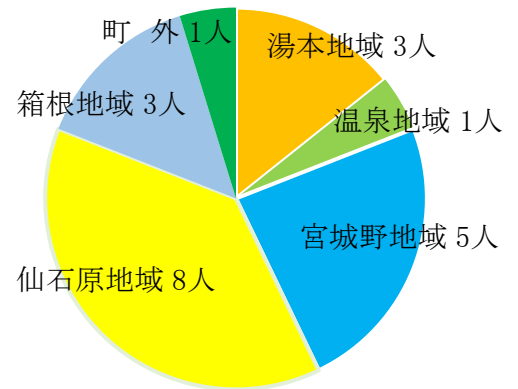
#### ○ 世帯構成

選択項目	回答数	割合
1 単身世帯	3	14.3%
2 夫婦2人世帯	8	38.1%
3 親・子(子が一人でも18歳未満)	6	28.6%
4 親・子(子が全員18歳以上)	2	9.5%
5 親・子・孫	2	9.5%
6 その他	0	0.0%
合計	21	100.0%



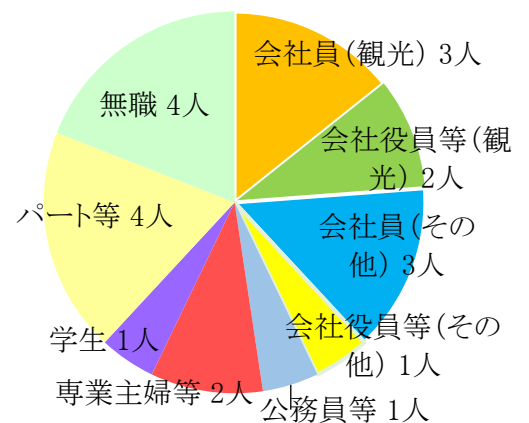
#### ○ 居住地域

選択項目	回答数	割合
1 湯本地域	3	14.3%
2 温泉地域	1	4.8%
3 宮城野地域	5	23.8%
4 仙石原地域	8	38.0%
5 箱根地域	3	14.3%
6 町外	1	4.8%
合計	21	100.0%



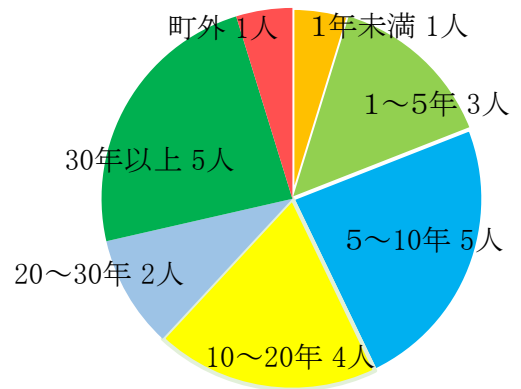
#### ○ 職業

選択項目	回答数	割合
1 会社員(観光関連産業)	3	14.3%
2 会社役員・自営業(観光関連産業)	2	9.5%
3 会社員(その他)	3	14.3%
4 会社役員・自営業(その他)	1	4.8%
5 公務員・団体職員	1	4.8%
6 農林漁業	0	0.0%
7 専業主婦・主夫	2	9.5%
8 学生	1	4.8%
9 パート・アルバイト	4	19.0%
10 無職	4	19.0%
11 その他	0	0.0%
合計	21	100.0%



○ 居住年数

選択項目	回答数	割合
1 1年未満	1	4.8%
2 1年以上5年未満	3	14.3%
3 5年以上10年未満	5	23.8%
4 10年以上20年未満	4	19.0%
5 20年以上30年未満	2	9.5%
6 30年以上	5	23.8%
7 町外在住	1	4.8%
合計	21	100.0%



[2] あなたが「残していきたい、守ってほしい」、「暮らしに活かしたい、楽しみたい」と考える箱根町の環境を記入してください。(自由記入)

○ 「残していきたい、守ってほしい」と考える環境

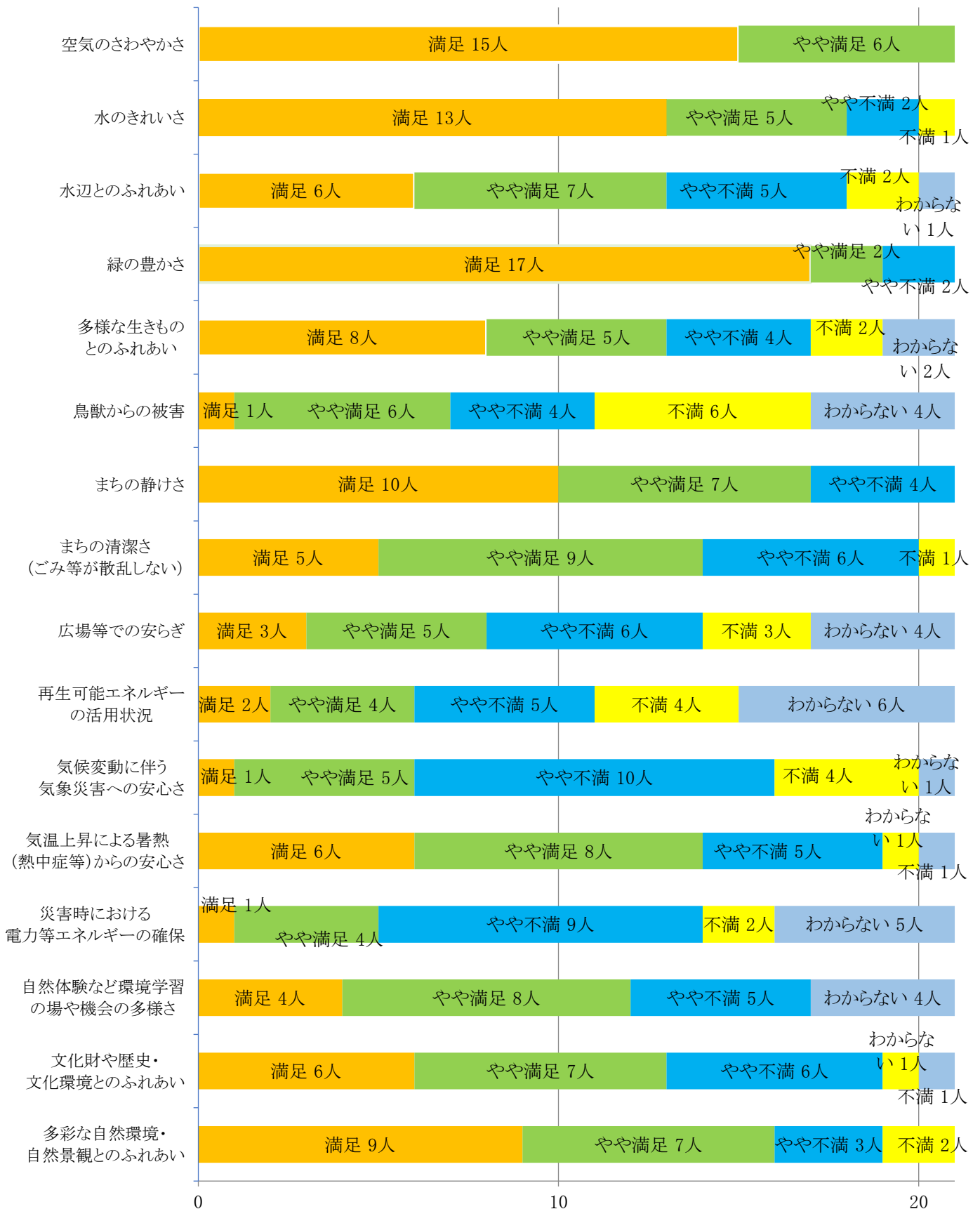
区分	一 覧
自然等 (8件)	散歩をしながら、季節ごと山の色が変わっていく様子を子どもたちと楽しんでいます。
	早川堤の桜並木、箱根全体の自然（樹木の種類が多い山）
	紅葉、大文字山
	元箱根から見た芦ノ湖と富士山。
	大涌谷を初めとする火山の恩恵（観光地や温泉）や地域独自の産業（箱根細工などの伝統工芸）、仙石原湿原を初めとする自然環境など。
	箱根の新緑、寄木細工、早雲寺
	すべてにおいて芦ノ湖、四季の変化が素晴らしい湿生花園、金時山の登山道、散歩して面白いのは別荘地区。
	箱根各所の自然環境・歴史環境・四季の樹木・花

区 分	一 覧
景観等 (5件)	大涌谷の景観
	芦ノ湖の景観
	すべての景観、自然（動植物）。東海道旧道の杉並木や石畳。歴史的な旅館の建物。特に、箱根入口にある函嶺洞門を復元して遊歩道として開放して欲しい。上に覆い被さってしまっている樹木を撤去しないと崩落してしまうのではないかと心配しています。観光協会運営のオープンカフェを作って人の流れを作ることもできます。
	芦ノ湖西岸の遠目からの景観、箱根駅伝のトロフィーを含む寄木細工、小さな温泉施設の存続
	芦ノ湖畔の景色、町の自然環境
歴史的 資源 (4件)	箱根の、鎌倉古道、旧東海道、関所など歴史的な物が有りますので後世に残していきたい。
	箱根宿時代の環境
	箱根には古くから宿が存在していたにも関わらず、自然災害などで倒壊したり、経済合理性の観点から取り壊されたりした結果、現存する建造物は少なくなってきています。また、函嶺洞門や二十五菩薩なども歴史のある観光資源なので、後世に残していくべきと考えています。
寄木細工、杉並木の歴史環境	
環境 (2件)	芦ノ湖付近の環境
	穏やかで静かな環境
その他 (1件)	ハイキングコース

○「暮らしに活かしたい、楽しみたい」と考える環境

区 分	一 覧
温泉等 (9件)	天然温泉
	町有温泉を気軽に入りたい。
	様々な泉質の源泉を楽しみたいと思います。
	外輪山を歩いて温泉に入る
	自然を愛でながら温泉に入る、花が咲いている時期の散策（草花や花の咲いている木）
	湧水、温泉
	大涌谷温泉で健康維持。自転車道を整備して頂き、健康づくり推進にして欲しい。
	お持ち帰りの温泉の活用、箱根各所の散策、箱根の山々・高低を活用してのジョギング・運動等
	美味しいお水で炭酸水、飲める温泉、子供が遊べる平地の公園
散策等 (5件)	毎日の散歩を爽やかに楽しめる環境
	芦ノ湖周辺の散策路。
	箱根山の散策を楽しむ
	芦ノ湖でボート、芦ノ湖一周散策、金時山で脚力強化。いろんなボランティアに参加して、自然保護。さらに、もっと文化活動があれば良い。
	ひめしやら林道の散策、ごみ拾い・路肩掃除しながらの樹木・草花観察
その他 (6件)	家庭の水道で安心安全な水を飲むことができること、図書館で借りた本などの情報を気軽に読むことのできる
	私の実家の近くには、里山と呼ばれる地域の方が整備してくれている場所があります。そういう場所に子どもたちを連れて行きたいのですが、箱根にもあると良いなと思います。自然豊かな里山散策を楽しみたいです。
	森の中のスターバックスのように、さっとクルマを停めて気軽にコーヒーが飲めるような敷居が低くてセンス良いお店があるとよい。
	部落水の存続
	健康体操、ストレッチなどしたい
	難しい質問でね。

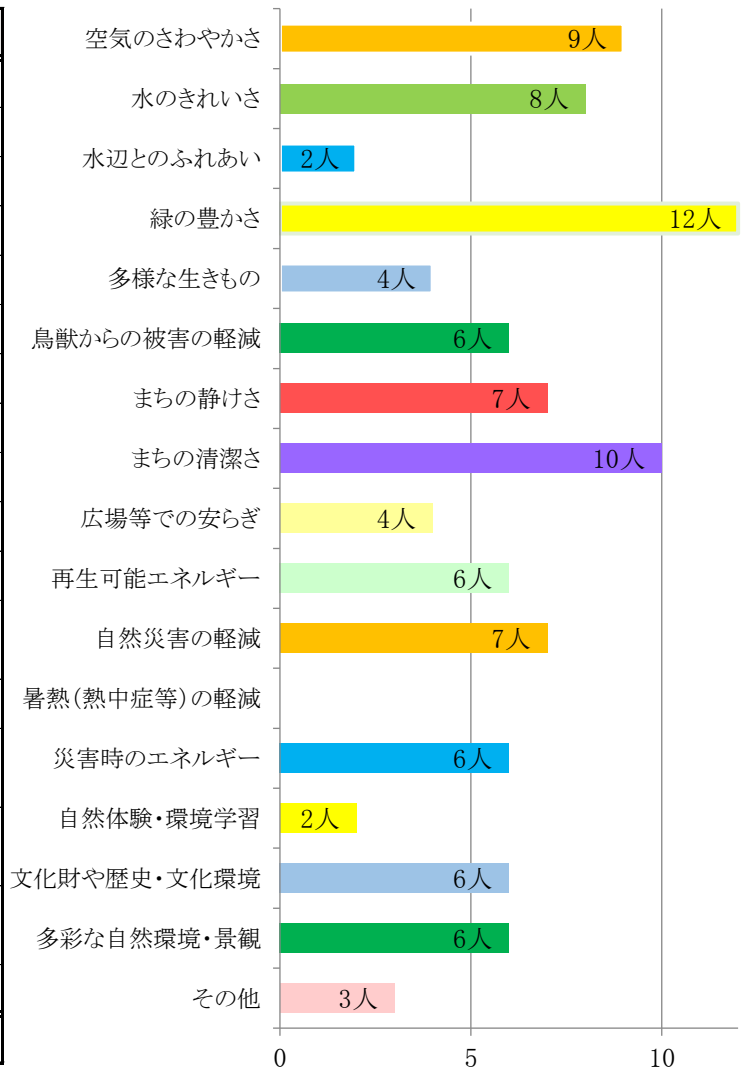
[3] 住まい周辺の環境について、次の各項目の満足度を選択してください。





[4] 住まい周辺の環境を良くしていくために、特に重要だと思う内容は何ですか。(5つ以内で選択)

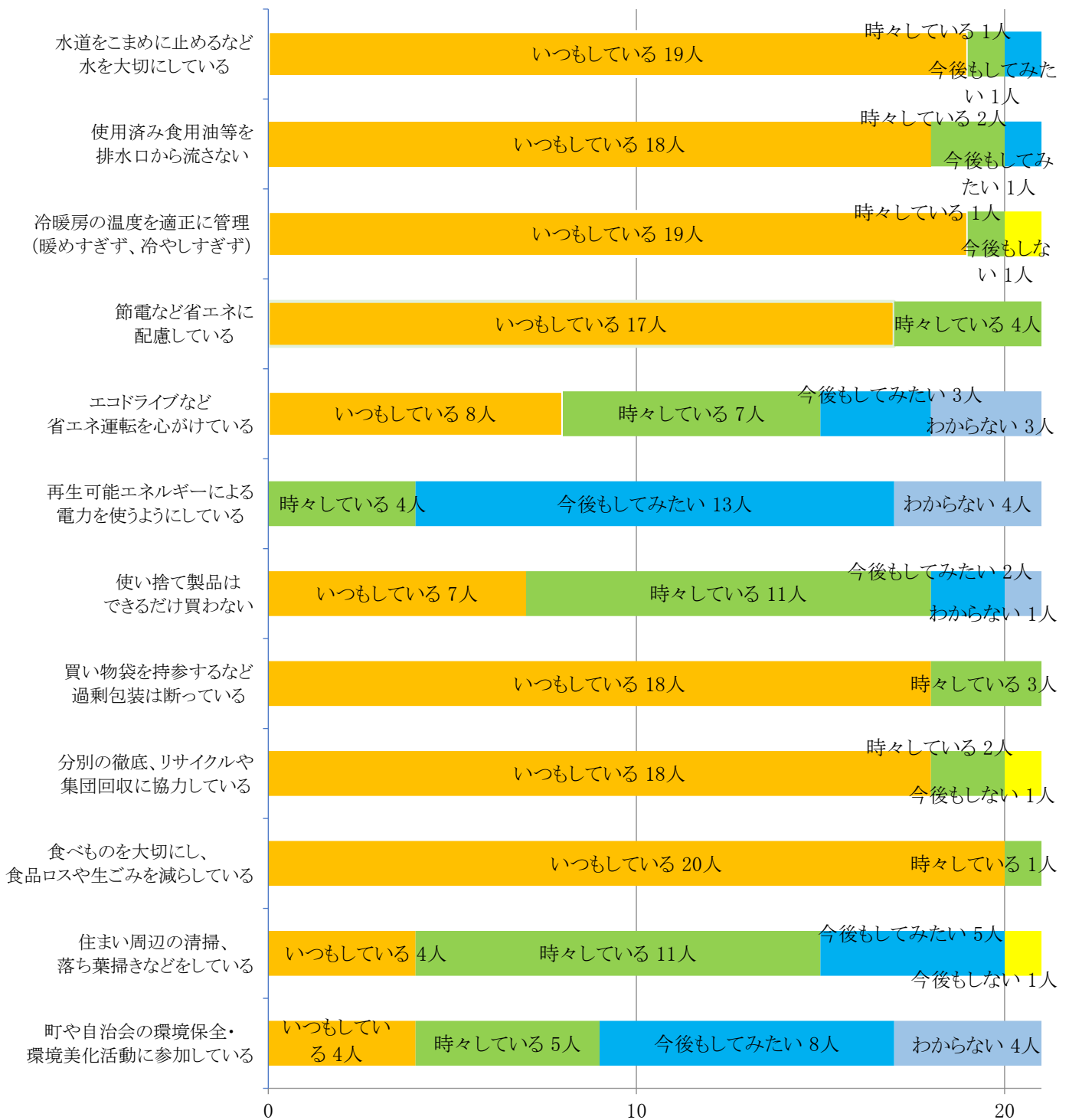
選択項目	回答数
1 空気のさわやかさ	9
2 水のきれいさ	8
3 水辺とのふれあい	2
4 緑の豊かさ	12
5 多様な生きものとのふれあい	4
6 鳥獣からの被害の軽減	6
7 まちの静けさ	7
8 まちの清潔さ	10
9 広場等での安らぎ	4
10 再生可能エネルギーの活用	6
11 気候変動に伴う自然災害の軽減	7
12 気温上昇による暑熱(熱中症等)の軽減	0
13 災害時での電力等エネルギーの供給	6
14 自然体験・環境学習の場や機会の充実	2
15 文化財や歴史・文化環境とのふれあい	6
16 多彩な自然環境・自然景観とのふれあい	6
17 その他	3
合計	98



「17 その他」を選択した方の意見

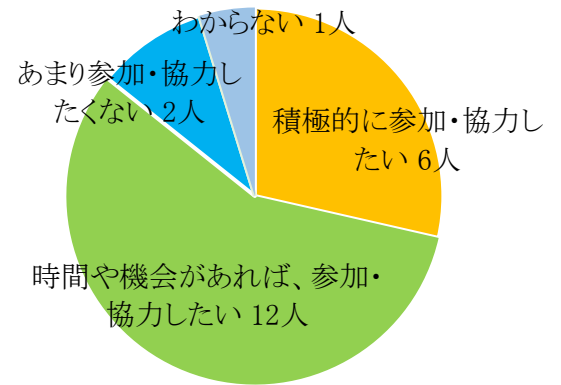
- ・ 自動車やオートバイの騒音低減。選挙時のラウドスピーカの使用制限。
- ・ 道路整備、原因が特定できるような自然渋滞が放置されたままは疑問
- ・ 生ゴミやプラスチック等の再生エネルギー化

[5] 環境保全に関する取組み(行動や活動)について、次の各項目であてはまるものを選択してください。



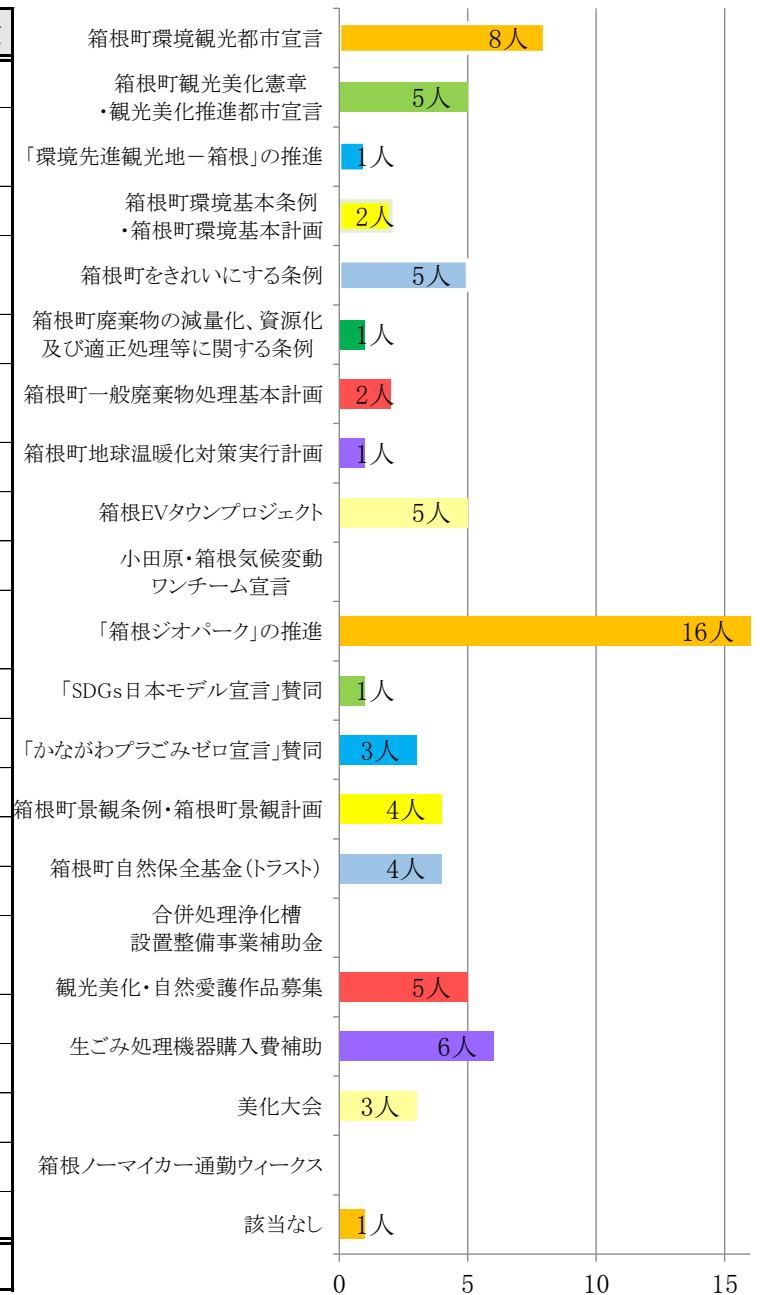
[6] 町や地域で実施する環境保全活動への参加・協力について、あなたの考えを選択してください。

選択項目	回答数	割合
1 積極的に参加・協力したい	6	28.6%
2 時間や機会があれば、参加・協力したい	12	57.1%
3 あまり参加・協力したくない	2	9.5%
4 参加・協力したくない	0	0.0%
5 わからない	1	4.8%
合計	21	100.0%



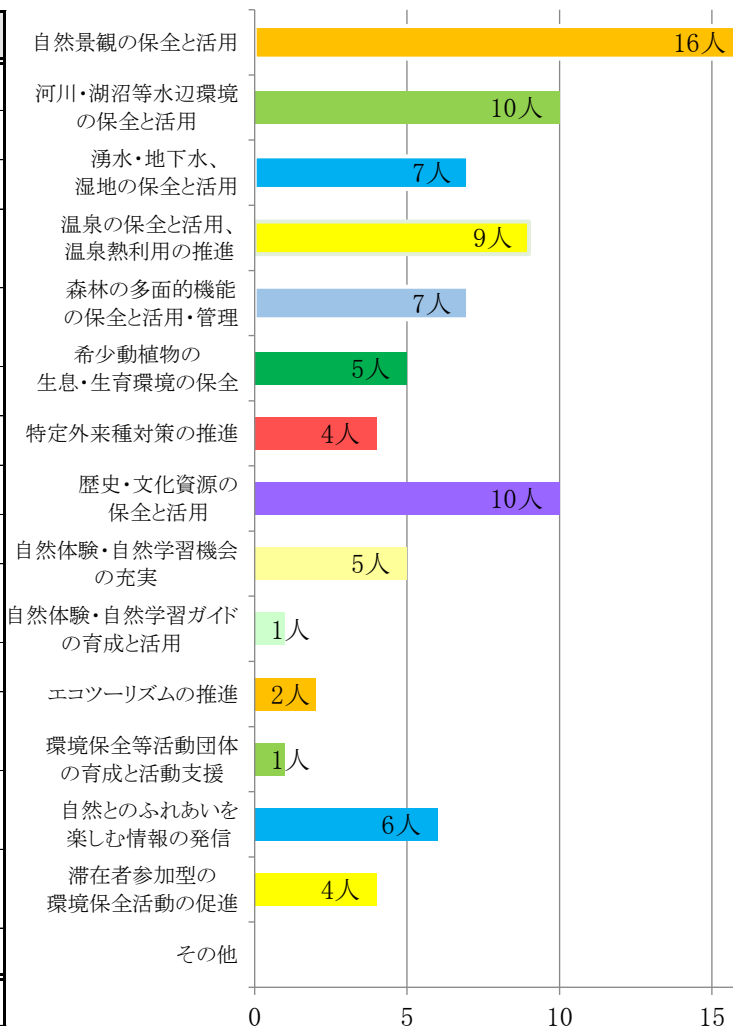
[7] 箱根町の環境保全等に関連する取組みについて、あなたが知っている、聞いたことがある取組みは何ですか。(該当するもの全て選択)

選択項目	回答数
1 箱根町環境観光都市宣言	8
2 箱根町観光美化憲章・観光美化推進都市宣言	5
3 「環境先進観光地一箱根」の推進	1
4 箱根町環境基本条例・箱根町環境基本計画	2
5 箱根町をきれいにする条例	5
6 箱根町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例	1
7 箱根町一般廃棄物処理基本計画	2
8 箱根町地球温暖化対策実行計画	1
9 箱根EVタウンプロジェクト	5
10 小田原・箱根気候変動ワンチーム宣言	0
11 「箱根ジオパーク」の推進	16
12 「SDGs日本モデル宣言」賛同	1
13 「かながわプラごみゼロ宣言」賛同	3
14 箱根町景観条例・箱根町景観計画	4
15 箱根町自然保全基金(トラスト)	4
16 合併処理浄化槽設置整備事業補助金	0
17 観光美化・自然愛護作品募集	5
18 生ごみ処理機器購入費補助	6
19 美化大会	3
20 箱根ノーマイカー通勤ウィークス	0
21 該当なし	1
合計	73



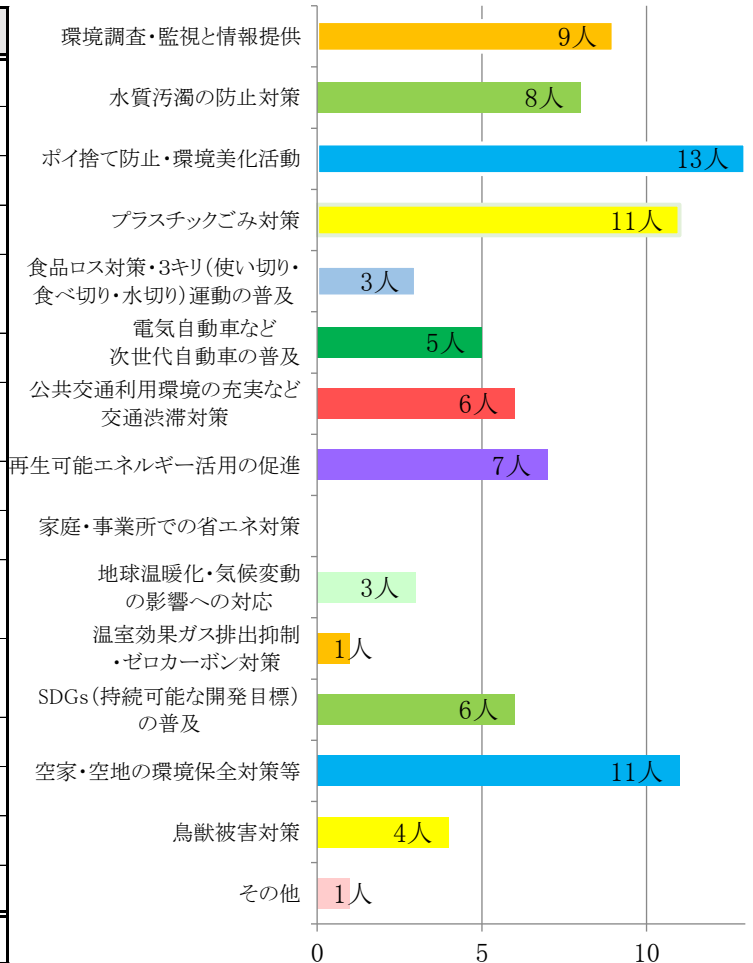
[8] 地域の環境資源の保全・活用に向けて、今後、箱根町が特に優先して進めていく必要があると考える取組みは何ですか。(5つ以内で選択)

選択項目		回答数
1	自然景観の保全と活用	16
2	河川・湖沼等水辺環境の保全と活用	10
3	湧水・地下水、湿地の保全と活用	7
4	温泉の保全と活用、温泉熱利用の推進	9
5	森林の多面的機能の保全と活用・管理	7
6	希少動植物の生息・生育環境の保全	5
7	特定外来種対策の推進	4
8	歴史・文化資源の保全と活用	10
9	自然体験・自然学習機会の充実	5
10	自然体験・自然学習ガイドの育成と活用	1
11	エコツーリズムの推進	2
12	環境保全等活動団体の育成と活動支援	1
13	自然とのふれあいを楽しむ情報の発信	6
14	滞在者参加型の環境保全活動の促進	4
15	その他	0
合計		87



[9] 環境保全(地球温暖化対策、廃棄物減量化、生活環境保全など)に向けて、今後、箱根町が特に優先して進めていく必要があると考える取組みは何ですか。(5つ以内で選択)

選択項目	回答数
1 環境調査・監視と情報提供	9
2 水質汚濁の防止対策	8
3 ポイ捨て防止・環境美化活動	13
4 プラスチックごみ対策	11
5 食品ロス対策・3キリ(使い切り・食べ切り・水切り)運動の普及	3
6 電気自動車など次世代自動車の普及	5
7 公共交通利用環境の充実など交通渋滞対策	6
8 再生可能エネルギー活用の促進	7
9 家庭・事業所での省エネ対策	0
10 地球温暖化・気候変動の影響への対応	3
11 温室効果ガス排出抑制・ゼロカーボン対策	1
12 SDGs(持続可能な開発目標)の普及	6
13 空家・空地の環境保全対策等	11
14 鳥獣被害対策	4
15 その他	1
合計	88

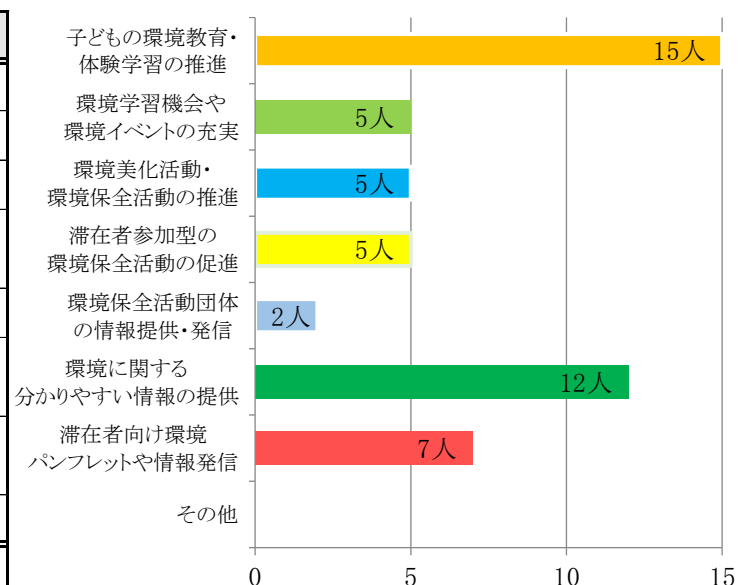


「15 その他」を選択した方の意見

- ・ 景観破壊街区の対応のために箱根町をきれいにする条例改正し、行政代執行適用可能事例を拡大する。

[10] 環境情報・環境学習・環境保全活動などに向けて、今後、箱根町が特に優先して進めていく必要があると考える取組みは何ですか。(3つ以内で選択)

選択項目	回答数
1 子どもの環境教育・体験学習の推進	15
2 環境学習機会や環境イベントの充実	5
3 環境美化活動・環境保全活動の推進	5
4 滞在者参加型の環境保全活動の促進	5
5 環境保全活動団体の情報提供・発信	2
6 環境に関する分かりやすい情報の提供	12
7 滞在者向け環境パンフレットや情報発信	7
8 その他	0
合計	51



[11] 箱根町の環境や環境保全等に関する取組みについて、お気づきの点、ご意見・ご提案がありましたら記入してください。(自由記入)

○ 地球温暖化対策、気候変動の影響への対応について

区 分	一 覧
大気汚染問題 (4件)	箱根湯本商店街の信号の無い2つの横断歩道を次から次へと渡り続ける観光客が引き起こしている大渋滞を長年放置している現状から、排気ガスによる環境悪化を非常に懸念している。
	電気自動車の補助金
	交通網の見直しを勧め、車での移動を減らす
クリーンエネルギー (2件)	交通渋滞の解消、そのための道路整備。リゾートマンション等への太陽光発電の設置促進。
	箱根はまだまだクリーンエネルギーの普及が遅れていると思います。各家庭に普及できるように対策をお願いしたいです。
その他 (2件)	自然エネルギーの使用を進めて下さい。
	EV導入促進以外、特に何かしているように思えない。
	2019年の台風の被害を考えると、道路分断や長期の停電など何が起きても不思議ではないので、有事の際の対策が少しでも多くの準備がされていればと思います。

○ 水辺やみどり、生きもの、自然環境、自然景観などについて

区 分	一 覧
開発の制限 (3件)	企業の寮やアパートのようなものが近所に一気に建ちました。ある程度の制限が必要では。
	あまり手を加えない（または手を加えていないように見える）方法の探求。
	可能な限り、自然を壊さずに残す方向で進んでほしいです。ただ、社会・観光を考え、遠目・山々の景観を考えての開発も必要だと思えます。
下水道整備 (2件)	湯本地区の下水道完備
	仙石原地区の下水の整備。早川の川底の掘り下げによる大雨対応力の向上。早川にはもっと鳥が生息しても良いと思う。
樹木の管理 (1件)	カシノナガキクイムシによるナラ枯れによる枯死木で景観が非常に良くない箇所が多くある。また、道路際で人車に被害が及びそうな箇所も多く、順次伐採して撤去する必要があると思う。
外来種問題 (1件)	外来種の駆除

○ ごみの減量・資源化などについて

区 分	一 覧
減量化 (3件)	観光業が多い地域ですので、なかなかごみの削減は難しいかと思えます。まずは家庭からですね。
	個人がゴミの削減や分別を意識してしっかり実行すれば、かなり変わると思えます。
	町内のゴミのほとんどが、事業者からの物なので、受益者負担の面からも、環境税として、ごみ処理にかかる経費を徴収するべきだと思う。また、事業者に対してゴミの更なる細分別化やゴミをエネルギーに変換する政策を勧めるべきだと思う
資源化 (3件)	ゴミ収集の細分化
	販売物品の包装プラごみ軽減。落ち葉はゴミとして扱わずたい肥にする努力を促進。
	その他紙を分別しても、一般ごみと区別せず収集しているようなので、収集業者への指導が必要なのではないか。
その他 (1件)	回覧板で、知らせる

○ 水質・大気など、良好な生活環境について

区 分	一 覧
水質 (3件)	水道水は塩素が多くて飲料に用いるのに抵抗がある。風呂のドアガラスも塩素の結晶がすぐついてしまうが、地域的なもので仕方が無いのでしょうか。
	箱根は水道等も水質が悪いと言われています。工場などはほとんどないので、河川が汚染することはあまりないように思います。
	浄水場の清掃
騒音 (1件)	暴走オートバイの取り締まりの強化による騒音の低下、良好な宿泊環境の確保が必要。
その他 (3件)	星槎学園のグラウンドの照明が明るすぎます。照明度合いを低め且つ使用頻度の軽減を指導してください。
	可能な限り、自然は自然のまま維持できるのが一番だと思います。
	ごみの減量



○ 環境教育・環境学習、環境保全活動などについて

区 分	一 覧
環境保全活動 (2件)	環境保全活動は必要だと思います。町民参加で大々的にやった方がよい。
	町民一斉清掃日
学習の機会 (2件)	講習会を行う
	やさしく、参加しやすい学習の機会の確保。
その他 (4件)	せっかく自然豊かな所なのに、子どもが遊べる川がなく、森も入りにくい。もっと子どもたちに自然を身近に感じてもらいたい。放課後に遊べる自然豊かなプレイパークが地域にあったら嬉しいです。
	環境教育、学習は子供よりも大人に必要な気がする。大人がしっかり理解して実践すれば子供はついて来る。
	散乱しているプラごみが結構あるので、少なくとも町民（町の業者）はポイ捨てをしないモラルを高める必要がある。
	環境の保全・保存はしつつ、自然と社会・観光等との共存も必要だと思うので、作るべき道・施設等は作り、残すべき所は残してほしい。芦ノ湖の西岸に、対岸からは見えないレベルの車一台分程度の道を一本通すことを希望しています。